

南箕輪中学校のキャリア教育実践について

南箕輪中学校 小穴智彦

南箕輪中学校のキャリア教育について

1 目標

生徒が夢や希望を抱き、学習や勤労の意義に気づきながら、進んで自己実現を図ろうとする能力や態度を養う。

(1) 適切な勤労観や職業観を身につけ、自らの立場や

役割を遂行する意欲・態度や能力を育成する。

(2) 職業だけでなく、生活も含めて一人前の大人になるための基本を幅広く養う。

(3) 自らの将来に見通しを持たせ、教科学習への意欲を高める。

職業観

職業について理解を深め、自らの方向性を定めていくこと。

勤労観

自分が社会の中である役割を果たそうと努力し、その行為に喜びを感じる。

2 基本的な方向

キャリア教育＝職場体験ではなく、総合的な学習で行う交流や体験活動（他者と協同して取り組む活動、体験を通して自信を深める活動）を通して、自分の役割をきちんと果たし人の役に立つことの喜びを体験していく。

(1) 個々の生徒の将来の「生き方」や「生活設計」について助言する。

(2) 個々の生徒の職業に対する意識を高める。

(3) 個々の生徒の能力、適性などの的確な把握とその伸張を図る。

生徒が試行錯誤していく過程をよく見て、生徒に対する理解を深めながら指導していく。

3 指導の諸活動

(1) 生徒が自己理解を深める活動…主として個人資料による。

(2) 進路に関する情報を提供する活動…進路資料の配布

(3) 進路に関する相談

(4) 就職や進学に関する指導・助言・援助

4 進路における自己実現の過程

(1) 自己理解…自己の特性を諸活動、調査の結果や他者の評価等によって総合的に理解する。

(2) 自己選択…生徒自らが、その時点における自己の進路の方向を選んでいく。

(3) 自己修正…各種の情報、経験、助言を整理して自己の進路の方向を修正していく。

(4) 自己実現…自己理解を深めながら新たな課題をもち、自己実現に向けた努力をする。

5 指導計画の概要

(1) 基本的なねらい…生徒自らが自分の進路について関心を高め、また自己理解を深める中で、自らの進路を選択する力を培い、進んで自己実現を図ろうとする態度を育てる。

(2) 学年別ねらいの重点

・「一年」…将来の希望を考え、進路についての関心を高める中で、自己を正しく見つめ、努力して向上していこうとする態度を育てる。

・「二年」…自己理解を深めるとともに、進路についての視野を広め、自分の進路について考えていく態度を育てる。

・「三年」…自己をかえりみて将来の展望に立った生き方を考え、主体的に進路を検討・選択し、自己実現を図ろうとする態度を育てる。

(3) キャリア教育学年別指導計画表

① ガイダンス的な学習

② 体験的な学習

	テーマ	内容	題材
1 年	1 将来の希望	・将来にどのような希望をもち、どんな生き方をしたいのか考える。	大芝野外体験学習
	2 自己理解	・進路について考えるために自己理解の必要性を知り、具体的に現在の自分を知って生かす心構えを持つ。	役割を果たす
	3 身近な職業	・身近な人々の職業や生活を学び、自分の希望や将来について考える。	ふれあい講座 <small>地域の人に学ぶ</small> 人権教育

			<p>自らの個性を好きになる 南箕輪の光を発信しよう</p> <p>ふるさと南箕輪の良さを調べ紹介する。地域の方々と関わりながら。</p> <p>職業について知る</p> <p>大人と語る会</p> <p>働くことの意義を知る</p> <p>社会人の話を聞く会、マナー講座</p>
2年	<p>4 上級学校への進学</p> <p>5 自己理解</p> <p>6 職業と私</p> <p>7 進路の選択</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進学の意味、上級学校の制度や種類を知り、自分の希望と進学について考える。 ・自分の希望が適切かどうか判断できるようにするために、自己理解を深められるようにする。 ・職業や生きることの意味、その社会的役割を理解する。 (職場体験学習) ・自己の進路の課題を明確にし、進路の選択について考える。 	<p>職場での注意事項を知る</p> <p>マナー講座</p> <p>(職場体験先の方)</p> <p>職場体験学習</p> <p>起業家の話を聞く会</p> <p>高校調べ</p>
3年	<p>8 進路計画の検討</p> <p>9 進学と就職の意義</p> <p>10 進路の選択</p> <p>11 進路決定と受検期の過ごし方</p> <p>12 振り返りと新しい「目標」を持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解や将来への希望をもとに進路計画を検討し、その実現に向けた自分の課題やあり方を考える。 ・進学と就職の意味が分かり、正しい就職観、進学観を持つ。 ・進路選択の情報資料(高校説明会、進路通信など)や高校体験入学や進路講話をもとに自分の進む方向を明確にする。 ・進路決定に伴う学習や生活のあり方を考え、希望実現の自信と意欲を持つ。 	<p>高校体験入学</p> <p>進路講話</p> <p>高校の先生方より話を聞く。各高校の特色を知る。</p> <p>志望校の決定</p> <p>面接練習等</p>

*全学年、年度初めと終わりに、南箕輪村キャリアパスポートを記入する。別紙資料参照。

6 三学年における進路指導

- (1) 高校で行なわれる体験入学・体験学習に、計画的に参加できるようにする。
- (2) 進路指導の資料として、今年度は実力テストを7回行なう。(例年8回)
- (3) 就職、各種学校に進む生徒については、職業安定所と相談しながら行なう。

- (4) 前期選抜については、募集の観点等が正しく理解できる資料を提示し、進学先の選択に際して、自分の適性や目標に沿った選択をするという、本来の方向を大切にします。
- (5) 夏季休業中、3年保護者懇談会を行う。

以下、今年度の実践の報告として、1年生のキャリア教育で行った「身近な大人の人生調べ」のまとめを掲載します。身近な大人にインタビューをすることを通して、働くことを考える活動ですが、保護者にインタビューした生徒が多くいました。どんな思いで仕事をしているのかということを知ること、中学生が感じたことなどをご覧くださいいただければと思います。

【キャリア教育通信】 「身近な大人の人生調べ」について

〈「身近な大人の人生調べ」生徒の感想より〉

感想

お母さんは、患者さんに良いことがあったりしたときはうれしく感じて、逆に、患者さんに悪いことがあったりするとつらく感じることを知りました。そんなふうに、その仕事を必要としている人のことを思って仕事できていることが、すごいなと思いました。私も、これから、少しずつ将来の職業について考えていきたいです。

これで発表を終わります。
ありがとうございました。

「働く上でのお母さんのうれしい、つらいという感情は、患者さんの感情とつながっていること」を知る。
そしてそれはお母さんが、「必要としている人のためを思って仕事をしている」と考えを深め、そのすごさに気づく。
話を聞いたことで、自分の将来に目を向け始めている。

感想

家庭を持つと仕事は自分のためだけでなく、家族のためでもあると思った。

まずは、どんな仕事があるかよく調べ自分の好きなことや、やりたいことを見つけ目標を持ちそれに向けて勉強をすることが大切だと思った。そして将来仕事に就いたら自分や周りの人を笑顔にしたいと思った。

これで発表を終わります。
ありがとうございました。

お父さんが仕事を通じて幸せにしたい人、笑顔にしたい人が家族なんだと知る。
自分の将来に目を向け、今自分が何をすべきなのか、目標に向かって何をすべきなのかを考える。
そしていずれ、お父さんが考えているように、自分も周りの人も笑顔にできる人になりたいと考えを深めた。

感想

毎日夜遅くまで仕事をしていて休日も保護者と連絡を取り合っているため、大変そうだと思っていた。しかし、子どもの成長を感じられるいい仕事だと分かった。お母さんがどんな思いで仕事をしているのか分かって良かった。

これで発表を終わります。
ありがとうございました。

遅くまで仕事をしていて「大変そう」と思っていたけれど、インタビューをする中で、その職業の「良さ」に気づく。
毎日、母がどんな思いで仕事をしているのか、そして母が「いつも遅くまで待っていてくれる家族に感謝している」ことを知る。
働くことを知る中で、母の思いに気がついた。

感想

母の会社に行ったことがあります。
母は、そこで、こんなに仕事について真剣に考え、一生懸命仕事をしているのだなあと感じました。そして、その仕事が終わると、毎日、美味しいご飯を作ってくれて、会社でも、家庭でも働いて、頑張ってくれている母に感謝。僕も「やりがい」を感じることができるような仕事に就きたいです。

これで発表を終わります。
ありがとうございました。

母が仕事について真剣に考え、一生懸命に仕事をしていることを知る。そして毎日用意してくれるおいしいご飯は当たり前のもではなく、会社でも家庭でも頑張ってくれる母に感謝している。
自分の将来の選択をするときにはその仕事の「やりがい」を重要視したいと、選択するときの基準ができた。

感想

お父さんの人生を調べてみて、なぜ入ったのかなどの聞いたことのない話などが聞けたので良かったし、面白かったです。ほかの人の人生調べも試してみたいな人の職業に入った理由も聞いたりしていきたいと思いました。次はお母さんの職業なども調べてみたいと思いました。

これで発表を終わります。
ありがとうございました。

「身近な大人の人生調べ」を通じて、お父さんから今まで聞いたことがなかった話を聴くことができた。仕事のインタビューを通じて、お父さんのこれまでの人生に少し触れることができた。

「他の身近な大人はどうなんだろう。」と、自分から興味を持ち、次なる学習へとつなげることができている。

感想

看護師は人の命のために一生懸命働いていることが分かった。人の命を救うためにたくさん勉強してたくさん考えて行動していることが分かった。看護師の仕事はとても難しいことが分かった。人の命を助けると患者さんも自分も患者さんの家族もみんなが笑顔になれるけど、患者さんが死んでしまうと、みんなが悲しい気持ちになってしまう。その責任を背負いながら僕たちのために働いてくれるのでうれしいなと思った。

これで発表を終わります。
ありがとうございました。

命を救うためには「沢山の勉強」と「沢山考えて行動すること」が必要なんだと知る。

これは中学生にとっても大事なこと。

患者さんの命をあずかっている大きな責任を背負いながら、日々自分たちのために働いてくれることが素直にうれしかった。

キャリア教育の目的の1つに「さまざまな職業に携わる方々と“人生（仕事・地域・家庭・趣味・生き方・考え方など）”について話すことを通して、生徒が生き方の視野を広げる」というものがあります。1学年の生徒がまとめた身近な大人の人生調べのスライドを見ると、保護者の方々の仕事に対する考えや、家族に対する思いに触れ、また人生の選択の場面で何を考えていたのかを知り、生徒それぞれの感じ方で視野を広げていく姿がありました。

そして、保護者の方の考えや思いを知った生徒が日々のありがたさを素直に感謝する姿や、「こんな大人になりたい。」と目標にしている姿を見て、日々の教育活動は保護者の方々のお力添えにより成り立つものだと思えました。

係として沢山の生徒のスライドを見たときに、「保護者の方はここまで話をしてくださったんだ!」、「こんなにも沢山お話してくださったんだ!」とうれしい気持ちでいっぱいでした。お忙しい中、時間を取っていただきご協力いただいたこと、学習に向き合ってください生徒の学びを深めてくださったこと、感謝いたします。これからの学習活動に関しても保護者の方々にご協力いただきながら、生徒の先につながる学習を目指して日々活動していきたいと思えます。よろしく願いいたします。

〈この後の学習〉

11月22日（火） 「大人と語る会」事前授業（学年集会）

11月25日（金） 「大人と語る会」

～当日来てくださる講師の方の職業一覧～

YouTuber、ハウスメーカー、林業ビデオグラファー、ピアノ調律師、美容師

南箕輪村地域おこし協力隊、南箕輪村開発公社社長、木工職人、主任保育士、介護職

訪問看護師、ダンスインストラクター、長野県職員(2名)、田楽座（伝統芸能）

12月～

「大人と語る会」振り返り

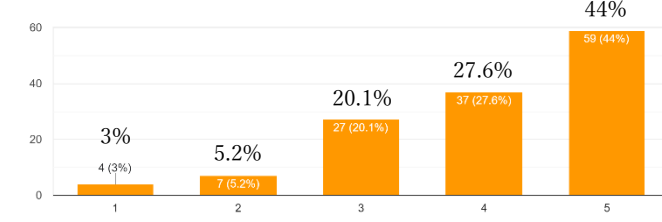
2年次「職場体験学習」に向けて

〈生徒の振り返り〉

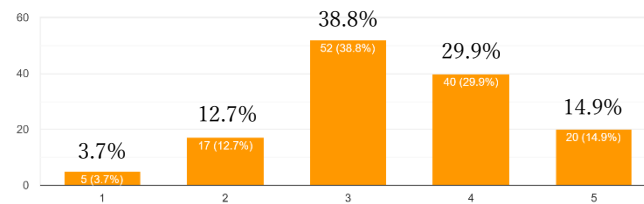
「身近な大人の人生調べ」の発表後に振り返りを Google フォームで行いました。インタビュー、まとめる活動、発表活動の観点からの振り返りと、感想です。

1 できなかった 5 できた

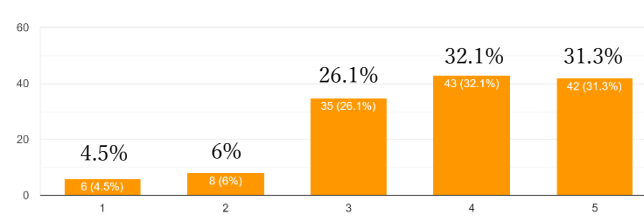
インタビューをした内容を、Googleスライドに上手にまとめることができた。
134件の回答



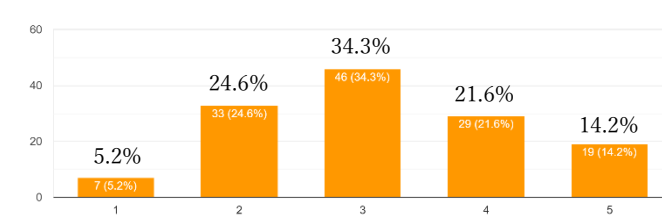
インタビューするときに、「目線、うなずき、相づち」を意識してインタビューできた。
134件の回答



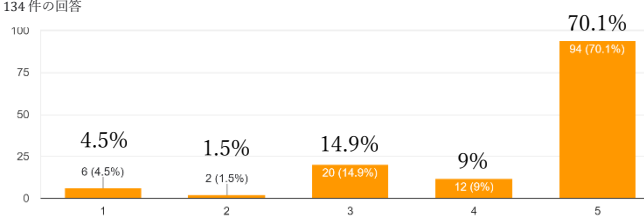
発表する場面では、声の大きさやスピードを意識して発表できた。
134件の回答



発表する場面では、視線を意識して発表できた。
134件の回答

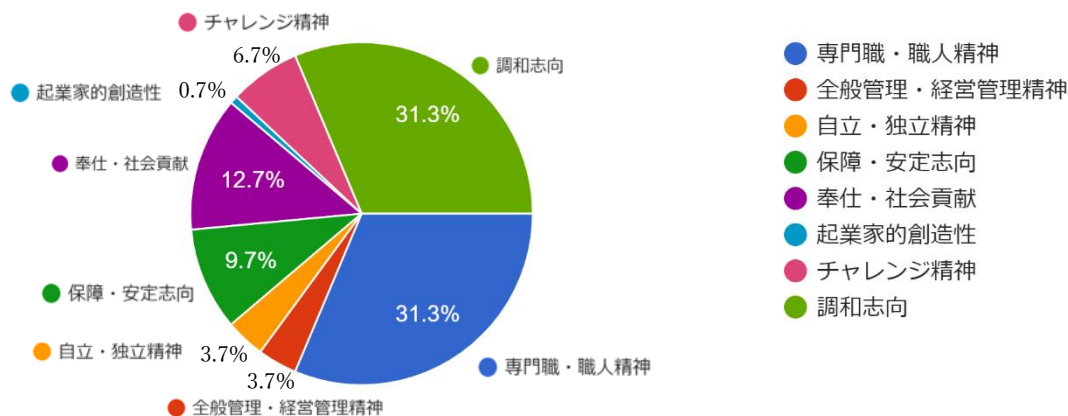


発表を聴く場面では、聴くときのポイント（否定しない・口をはさまない・相手の意見を認める）を意識して仲間の発表を聴くことができた。
134件の回答



インタビューをした「仕事を選ぶうえで大切にしていることベスト1」は次のうちどれでしたか？

134件の回答



新しく知ったこと、発見したこと、考えたこと

- ・人それぞれいろいろな事を考えながら仕事をしているということ
- ・自分のことだけでなく、家族、働く人のことを考えていたことを知った。
- ・お父さんがどんな気持ちで今まで仕事をしてきたかを新しく知った。
- ・自分で経営するとなるとすべて自分で責任を取らなきゃいけないということが改めて分かりました。それでも、自分で責任をとり、好きなことを続けているのはすごいことだなと思いました。

新しく知ったこと、発見したこと、考えたこと

- ・いろいろな仕事があったし、何より親の仕事についてすごくよく分かったいい機会だったと思う。
- ・生活の目的が変わるとそれにもなって仕事も変わるという法則。(あくまで家のお母さん)
- ・仕事はただお金を稼ぐためだけにやるのではなく、お客様や家族など周りの人を幸せにするためにもやっていることが分かった。
- ・大人は、困難を乗り越えて大人になっているんだなと思いました。

大人の人生調べの活動（インタビュー、まとめ、発表）を通して気づいたこと、思ったこと、感想

- ・発表をみんなの前であまりしたことがなかったから緊張したけどしっかり声の大きさなど意識して発表することができた。
- ・お母さんたちに聞くとき分かりやすく質問をするのは、とても難しかったです。けど、いろいろなことを知れて良かったです！！
- ・大人になったら多くの人を笑顔にできる仕事をしたいと思った。仕事を始めたきっかけはみんな違って面白かった。
- ・発表は緊張するけれど、聞く人の姿勢が良かったので発表しやすかったです。なので、聞く側も大事なんだなと思いました。
- ・いつも何気なく仕事をやっているように見えたのですが実は、家族やピアノ教室に来てくれる生徒さんのことをよく考えていることが知れてよかったです。
- ・いろんな人が働いているけど、それぞれ働くわけがあって自分はどんな思いで働こうかという気持ちになった。
- ・大変な仕事をやっている、お母さんたちには感謝したいと思いました。
- ・同じお仕事だとしても人それぞれ考えていることが違って、どのように考えているのかが分かった。私も自分にあつた仕事をしたいと思った。
- ・仕事は、そんなに簡単なことではなく、辛いこともあるんだなと思いました。

おわりに

この学校に赴任して3年が経ちますが、新型コロナウイルス感染症の影響で、キャリア教育として予定されていた活動も中止にせざるを得ないことも多くありました。その中でも、何か体験させてあげることができないか行ってきた活動は、生徒のキャリアにプラスに働いたのかと考えることもありました。ですが、どんなこともキャリア教育に繋がっていると考えるようになったのもこの3年間があったからだと感じています。職業や働くことだけではなく、その人を作っていくものがキャリア教育、刺激や経験によって生き方を考えていくのがキャリア教育ではないかを感じる日々です。コロナウイルスに対する状況も変わり始めている今日この頃、今後のキャリア教育の在り方をまた学校で見直して、生徒の生き方に刺激を与えるような教育活動になっていけばと思います。